

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	森田 陽一	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3293		事務事業名称	道路環境維持事業						短縮コード	経常	3293	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	02	道路橋梁維持費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	道路法第16条, 42条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和27年6月, 道路法施行日から 市道の道路施設の整備及び維持管理														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
事業に対して, 市民からの要望が多様化している。							大項目（節）	02	道路					
							中 項 目	02	市道					
							小項目（施策）	02	一般市道の整備					
							細 項 目	02	市道の整備					
						実施計画の 計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 道路施設の保守点検委託, 街路樹剪定委託, 街路樹消毒委託, 路肩草刈委託						
	※平成20年度に計画していること： 道路施設の保守点検委託, 街路樹剪定委託, 街路樹消毒委託, 路肩草刈委託						
意図 （何を狙っているのか）	道路施設の管理						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	要委託件数	件	18	16	27	16
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	委託件数	件	18	16	27	16
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	委託率	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3293	事務事業名称	道路環境維持事業			所属名	土木建設課
			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	51, 748	54, 054	63, 058	54, 541	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			道路施設清掃・保守点検委託(13件)32, 147千円 街路樹剪定・消毒委託(4件)9, 625千円 路肩草刈委託(1件)4, 988千円	委託料 49, 033千円	委託料 57, 786千円	委託料 49, 125千円	
人件費 (B)			千円	12, 847. 2	14, 625. 7	18, 383. 2	26, 829	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	64, 595. 2	68, 679. 7	81, 441. 2	81, 370	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「道路環境維持事業」は上位の施策「一般市道の整備」にむけ推進しており，結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		市道の道路施設をこれからも良好に維持管理していかなければならない。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		道路法に市の道路管理者としての責務規定があるため。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的の変更はなく，現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		市が管理する道路施設を良好に管理をするため，現在有効性・効率性の点からも適正に事務を遂行している。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3293	事務事業名称	道路環境維持事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市が管理する道路施設を良好に管理するため、今後とも適正に事務を執行していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業を継続するに当たり、経費・成果ともに不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
必要な事業量に比べて実施する事業量が少ない。市民等から不満が増大していて良好な道路環境が保てない。	

所属長コメント	市道の道路環境維持及び道路景観の保全を図っていくためにも、継続していく必要性がある。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		